

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスらら		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日		2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日		2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設外でのイベントなどお出かけ行事を積極的に取り入れており、様々な体験を通して社会性等を学ぶ事が出来る様な支援を提供していることです。	子供たちが興味を示してくれるようなイベントや場所を季節ごとに考えています。その中で長時間車に乗ってはいなくてはいけな時間などは車の配置や車から降りて休憩する時間を作るなどその時々で工夫をしております。	同じ行先でも同じ取り組みをするのではなく、アクションを1つずつ増やす等ステップアップした内容を提供して行きます。また、保護者の方とも情報共有し、ご家庭でも生かせるように工夫して行きます。
2	月に一度アルバム等にして子供たちの様子をお伝えするなど、口頭説明だけではなく実際に目で子供たちの様子を見る事が出来る様な取り組みをしていることです。	月一でアルバム制作を全職員が行い、その時の子供たちの気持ちになりながらコメント書きや装飾等を行っています。その他にも、毎月の通信に集合写真を載せたり、利用希望表にはその月の行事内容を載せる等して子供たちや保護者の方に見通しをもちやすいような工夫を行っています。	ホームページの写真を定期的に変えたり、ブログ作成をする等もっと保護者の方が子供たちの様子を知る機会を増やす事が出来る様に工夫を行っていきます。
3	空間が広く、窓も大きいので明るさが保たれており、また、一人一人の収納棚を用意したり今日座る位置に顔写真を貼るなど目で見て把握する事が出来る等、子供たちが混乱することなく落ち着いて過ごす事が出来る様な環境作りをしていることです。	必要に応じて掲示物を増やしたり、その子その子に合わせた指示書を作成したりと子供たちが安心して過ごす事が出来る様な環境作りをしています。また、時には全員で体を使った活動を楽しんだり、時にはグループで分かれて各々の活動を楽しんだりと空間が広い事を活用した取り組み方もしています。	障がいの特性や成長に合わせた指示書や環境など、常に多角的な視点で捉え、必要な改善や追加を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や面談、普段の様子を見学するという機会を継続的に実施する事が出来ていない事です。	通所児童に年齢差がある事により、その日その日で職員配置に変動があり、保護者の方とのスケジュール調整に難航していることが要因と考えられます。	日々の取り組み方などのスケジュールを見直したり、職員一人一人のスキルアップを行っていきます。
2			
3			